

エコライフDAY&WEEK埼玉

2025 (冬)

～ストップ! 地球温暖化～



1 エコライフDAY&WEEK2025 (冬) 結果

参加した人数

2,504 人

※小学生 275 人、中学生 322 人、特別支援学校生 12 人と、そのご家族及び教職員など多くの方が参加しています!

削減した二酸化炭素の量

約 **14.8** トン

※1人当たりの削減量は約 5.9kg です。

→
ブナの木：約 1,347 本
スギの木：約 1,058 本
の一年間に吸収する
二酸化炭素量に相当

※1年間に吸収する二酸化炭素量は、ブナの木1本が約11kg（独立行政法人森林総合研究所調べ）、スギの木1本が約14kg（林野庁HP）として換算しています。
※2023年（夏）より一週間単位の取組を集計に合算した為、二酸化炭素の削減量が例年に比べ大幅に増加しています。

2 集計結果

区分	参加した人数	削減した二酸化炭素量
小学校	953 人	4,757 k g
中学校	1,186 人	7,815 k g
特別支援学校	31 人	240 k g
個人での参加等	334 人	2,004 k g
合計	2,504 人	14,816 k g

※小・中・特別支援学校の参加した人数は、家族・教職員も含まれます。

※構成表の値は、小数点以下を四捨五入して計算しています。

3 エコライフ（冬）の推移

実施年	参加した人数	削減した 二酸化炭素量	1人当たり 削減量
2025	2,504人	14,816kg	5.9kg
2024	2,581人	14,496kg	5.6kg
2023	1,831人	7,798kg	4.3kg
2022	2,990人	12,325kg	4.1kg
2021	3,622人	3,044kg	0.8kg

※2021～2022年度は1日間の取組、2023年度から1週間の取組を合算

4 参加者の感想・工夫点など

《小学生》

- 二酸化炭素(地球温暖化の素)を減らす活動を考えた。
- これからも富士見市を守りたいです。後ポイ捨てがあったらひろって、ごみばこにすてたいです。
- 電子レンジ、炊飯器、使わない時は電源をぬいた。暖房を使わず、ホッカイロ靴下「温かい靴下」をはき、腹巻きをして体を温めながら過ごしている。
- 室温 20℃を目安に暖房を控えめに使用した。
- 照明は、省エネ型の LED 照明を使用した。

《中学生・高校生・一般》

- 意外と CO2 が日常生活に使われていることが分かった。
- 日頃からエコライフを意識して生活しています。
- SDGs を実現するために給食を毎日残さずたくさん食べた。
- 環境問題について深く考えることが大切なので、これからも続けていきたいです。
- 出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。

**この取組をきっかけに、環境にも家計にもやさしい
エコライフを続けていきましょう！**